Update 3 データ移行に関する注意点

Update3は2023とは別にインストールされます。 2023のデータをUpdate3で使用する場合の注意点を説明します。

dgn データについて

データの保存先も別となるため、2023のデータを利用するには場所を指定する必要があります。

dgn データの保存先フォルダー

Update3と2023の初期フォルダーはそれぞれ以下のようになります。

■ Update3

C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2024.00¥Configuration ¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn ※フォルダー名は「TrendRoad Designer 2024」となります。

■2023 Release2

C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2023.00¥Configuration ¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn

■ 2023 Release1 C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 10.12¥Configuration ¥WorkSpaces¥JAPAN¥WorkSets¥サンプル¥dgn

dgn データの開き方

ワークセットを作成していたり任意のフォルダーに保存していたりする場合は、[開く]からファイルを指定して開きます。

構成	TREND ROAD Designer
… が サンプル構成 サンプルコンテンツの構成	作業環境 ワークセット JAPAN マ サンプル マ
^{構成を管理} ₪ 最近使ったワークセット	最近使ったファイル
JAPAN サンプル 	最近ファイルを開いていません。ファイルを参照するには、最初に[開く]をクリックしてください。
こちらにワークセットが表示されます。	
ワークセットから最近開いたファイルはありません。 <u>詳しくはここをクリック</u>	

memo

2023 以前で作成されたデータ(dgn ファイル)を Update3 で開いた場合

下図のような確認メッセージが表示されます。



はい: Update3 形式にアップグレードされて開きます。 ※Update3 にアップグレードされた dgn ファイルは、2023 以前では編集できません。 ※バックアップファイルが同じフォルダーに作成されます。(×××.dgn⇒×××.dgn.bak) いいえ: 読み取り専用で開きます。

※ファイルはアップグレードされません。

キャンセル: ファイルは開きません。

memo

Update3 で作成されたデータ(dgn ファイル)を 2023 以前で開いた場合

下図のような確認メッセージが表示されます。



OK: 読み取り専用で開きます。

キャンセル: ファイルは開きません。

標準断面テンプレートについて

標準断面テンプレートなどの設定ファイルも別となるため、2023のデータを利用するには場所を指定する必要があります。

標準断面テンプレートの保存先フォルダー

Update3と2023の標準断面テンプレートのフォルダーはそれぞれ以下のようになります。

■Update3

C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2024.00¥Configuration ¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library ※フォルダー名は「TrendRoad Designer 2024」となります。

■2023 Release2

C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2023.00¥Configuration ¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library

■2023 Release1

C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 10.12¥Configuration ¥Organization-Civil¥Civil Default Standards - JAPAN¥Template Library

2023 で作成・編集した標準断面の利用方法

2023で作成・編集した標準断面を利用するには以下の手順が必要となります。

■ 管理ツールでインポートする場合

1 [標準断面エディタ]の[ツール] – [標準断面ライブラリの管理ツール]を実行します。

	□ 標準断	f面エディタ					
5	アイル(F)	編集(E)	追加(A)	ツール(T)			
樽	票準断面:	ライブラリ:		標準	℡断面ライブラリの管理ツール(T)…		
	C:¥Pro	gramData)	¥Bentley¥T	特性			
	□ □ 点4	台のリスト 簡易パーツ		構成	戈要素名の優先を適用(C)		
	<u> </u>	サンプル		特性	生定義を点に適用(P)…		
	ب	01_テンプレ ✔ 01 主要	一下 插240.诸职	特性	生定義を構成要素に適用(M)		
	, ,	≺02_主要	幹線道路	補足	2地形作成を点に適用(A)…	1	
	>	┽ 03_主要	幹線道路	横洲	6片勾配を占に適用…	tie.	

2 右側のパネル横の三点リーダーをクリックします。

■ 標準断面ライプラリの管理ツール		—	, 🗆	×
使用可能: C:¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2024.00¥Confi	使用可能: アクティブなデザインファイルのコリド ー		 キャンセ	<u>الاع</u>

3 2023の標準断面テンプレートファイルを指定して開きます。

▶ 開<		×
\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow \blacksquare \ll Civil Default Standard	- JAPAN > Template Library ~	C Template Libraryの検索 タ
整理 ▼ 新しいフォルダー		≣ ▾ □
PC	名前 ^	更新日時 種
🖳 OS (C:)	TRENDROAD Templates Metric_MLIT.itl	2023/08/30 13:09 iT
 Carrier and Article 		
ファイル(<u>F</u>) ▼	ディレクトリ(<u>R</u>) 🔻	
ファイル名(<u>N</u>): TRENDROAD Tem	plates Metric_MLIT.itl	 *.itl 開く() キャンセル

4 右側のパネルに2023の標準断面が表示されます。 標準断面を選んで右から左へドラッグ&ドロップしてコピーします。

■ 標準断面ライブラリの管理ツール				\times
使用可能: C.¥ProgramData¥Bentley¥TrendRoad Designer 2024.00¥Cont E 点名のリスト つ。簡易パーツ つ。1切土面 つ・切土面(1.2) × 01.切土面(1.2) × 03.切土面(1.4) × 03.切土面(1.4) × 05.切土面(名勾配) × 06.切土面(名勾配) × 06.切土面(勾配変動) 02.盛土面	使用可能: C ¥ProgramData¥Bentley¥T rendRoad Designer 2023.00¥Cor 笠 点名のリスト ○ 00_簡易パーツ ○ 1.サンプル ○ 22図集 ○ 03_TRDオリジナルテンプレート ○ 20241200 ▼ 床掘り法面	f	Ок <i>+</i> +у)t	216

5 [OK] すると確認のメッセージが表示されます。

[はい]をクリックします。



■標準断面テンプレートを直接開く場合

1 [標準断面エディタ]の[ファイル] – [開く]を実行します。

■ 標準断面エディタ					
ファイル(F) 編集(E) 追	1.1カロ(A) ツール(T)				
新規(N)	>	見在の標準断	ā	表示	
開く(O)	Ctrl+O	前:	18_区画道路(B=6m)	○構成要素 ○)拘束
保存(S)	Ctrl+S	说明:		🗹 点の名前を表示	
名前を付けて保存(4	A)		□トンネル標準断面	□すべての構成要素を	表示
閉じる(C)					
○ U2_土安轩部 ○ 03 土更能容	線道路 D 地獄 息道路 C 他 斌		<u>tie 1</u> ie		
─ 03_主要幹線	線道路 C地域				
➤ 05_主要幹約	線道路 D地域				
₩ 06_主要幹部	泉道路 D地域				
── 07_9+38/直8	8A地域(4車; 8B地域(4車;				
┝━━━━━━━━━━━━━━━━=====================	铬C地域(2車;				
── 10_幹線道器	铬D地域(2車;				

2023の標準断面テンプレートファイルを指定して開きます。
 ※2023で「名前を付けて保存」していた場合は、そのファイルを指定してください。

▶ 開<							×
$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow$	•	デスクトップ > 練習2		~ C	練習2の	検索	م
整理 ▼ 新しいファ	オルダー					≣ •	•
		名前	^	更新日時		種類	サイズ
デスクトップ	*	TRENDROAD Te	mplates Metric_MLIT_練習2.itl	3000.00.00	1.000	ITL ファイル	20,282 KB
■ ドキュメント	*						
🔀 ピクチャ	*						
🕗 ミュージック	*						
🗾 ビデオ	*						
		ファイル(E) 🔻	ディレクトリ	(<u>R</u>) •			
	ファイル名(<u>N</u>)	: TRENDROAD Templat	tes Metric_MLIT_練習2.itl	~	*.itl 開		~ キャンセル

3 2023の標準断面が表示されます。



■特性定義のリンク切れの修正方法

Update3では、使い勝手をよくするため特性定義のフォルダー構成を一部変更しました。 そのためUpdate3で2023の標準断面を表示すると、構成要素の特性定義がリンク切れし白表示になることがあります。 その場合の修正方法を説明します。

1 [ツール] – [特性定義を構成要素に適用]を実行します。

■ 標準断面エディタ			
ファイル(F) 編集(E) 追加(A)	ツール(T)		
標準断面ライブラリ: ・ ・ Ⅲ 点名のリスト □ 00.簡易パーツ □ 01.サンプル	標準断面ライブラリの管理ツール(T) 特性名の優先を適用(F) 構成要素名の優先を適用(C) 特性完美を占に速用(D)		表示 構成要素 拘束 点の名前を表示 すべての構成要素を表示
Gall Gall Gall Gall Gall Gall Gall Gall	特性定義を構成要素に適用(M)		
✓ 主要幹線道路 C地 ✓ 主要幹線道路 D地 ✓ 補助幹線道路 D地	柵圧地形TF成を点に適用(A) 横断片勾配を点に適用		
 ○1 02_線テンプレート(Line: ○1 03_面テンプレート(Surf: ○1 02_図集 	標準断面に分類を適用 ライプラリに分類を適用 		
 O3_TRDオリジナルテンプレー 練習2 図画道路2(B=6m) 	カ規ルールを開来 オブション(0) 動的な設定値		
		3 #5#5	調 方 編4時中心牌 第371編 古

2 ダイアログの上部に構成要素の特性定義を選択するドロップダウンがあり、その下に各構成要素名と適用されている 特性定義が並んでいます。特性定義がリンク切れしている場合は赤字で表示されます。

構成要素の特性定義:		実行
~ Mesh¥01よく使う¥01	コンクリートギコンクリート 1	閉じる
構成要素に適用:		
名前	特性定義	
下層路盤	Mesh¥舗装¥下層路盤	
上部路床	Mesh¥舗装¥上部路床	
上層路盤	Mesh¥舗装¥上層路盤	
舗装_表層	Mesh¥舗装¥表層	
路肩	Mesh¥土工¥法肩	
路肩1	Mesh¥土工¥法肩	

3 [特性定義] 列をクリックしてソートし、同じ特性定義はCtrlキーで複数選択します。

構成要素の特性定義:		実行
 Mesh¥01よく使う¥01 	コンクリート¥コンクリート 1	閉じる
	1	
構成要素に適用:		
冬前	特性完善	
テンプレート要素」盛土法面	Mesh¥土工¥盛土法面	
テンプレート要素_盛土法面2	Mesh¥土工¥盛土法面	
アンフレート 姜素」切主法国	Mesh¥土工¥切土法团	
テンプレート要素_切土法面2	Mesh¥土工¥切土法面	
铬肩	Mesh¥土工¥法肩	
路肩1	Mesh¥土工¥法肩	
下層路盤	Mesh¥舗装¥下層路盤	
	A Prime A Prime and	

4 上部の特性定義のドロップダウンから同じ特性定義名を選択し [実行] をクリックします。

成要素の特性	定義:		実行
/	Mesh¥01よく使う¥	02土工¥盛土法面	閉じる
⑤特性の定 ● Mesh ● 01よく ● 0 01よく ● 0 01 ● 0 01 ● 0 01 ● 0 01 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0	教なし 使う コンクリート コンクリート 1 コンクリート 2 コンクリート 3 エンクリート 3 エンクリート 3 エンクリート 3 重要 主法面 切土法面,小段付き 平場 増加 開発 路休 路休 諸狭 現況 業 、 ノ グ リーン の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	生定表 h¥土工¥雪土法面 h¥土工¥切土法面 h¥土工¥切土法面 h¥土工¥法肩 h¥土工¥法肩 h¥甜菜¥下層路盤	

5 リンク切れが修正され、構成要素名と特性定義名が黒字で表示されます。 ダイアログを閉じ、標準断面エディタでテンプレートをダブルクリックして画面を更新して修正した構成要素の色が白から 各特性定義の表示に変更されたことを確認します。

構成要素の特性定義:		実行
〜 Mesh¥01よく	使う¥02土工¥盛土法面	閉じる
構成要素に適用:		
名前	特性定義	
テンプレート要素_盛土法面	Mesh¥01よく使う¥02土工¥盛土法面	
テンプレート要素_盛土法面2	Mesh¥01よく使う¥02土工¥盛土法面	
テンプレート要素_切土法面	Mesh¥土工¥切土法面	
テンプレート要素_切土法面2	Mesh¥土工¥切土法面	
路肩	Mesh¥土工¥法肩	
路肩1	Mesh¥土工¥法肩	
	A POLA COMPANY AR	



6 同様の手順で残りの特性定義も修正します。

■ 特性定義を構成要素に適用			
構成要素の特性定義	実行		
~	Mesh¥01よく使う¥03舗装¥02_表層		
構成要素に適用:			
名前	特性定義		
テンプレート要素_切土法面2	Mesh¥01よく使う¥02土	工¥切土法面	
路肩	Mesh¥02全て¥土工¥法	5肩	
路肩1	Mesh¥02全て¥土工¥法	と肩	
下層路盤	Mesh¥01よく使う¥03舗	装¥06_下層路盤	
上層路盤	Mesh¥01よく使う¥03 舗	装¥05_上層路盤	
上部路床	Mesh¥01よく使う¥03舗	装¥07_上部路床	
		New Distance of the Contract o	



7 点の場合は白表示されていませんが、[ツール] – [特性定義を点に適用]を実行し構成要素と同様の手順で リンク切れを修正します。

■ 標準断面エディタ					-		\times
ファイル(F) 編集(E) 追加(A) **	ソーJL(T)						
標準断面ライブラリ:	標準断面ライブラリの管理ツール(T) 特性名の優先を適用(F) 増成要素名の優先を適用(C)	表示 ● 構成要素 ○ 拘束 図 点の名前を表示				閉じる	
 ○(前番のトータ) ○(カランブレート(Temu) ※ 区画道路(B=6m) ※ 主要幹線道路 0地 ※ 主要幹線道路 0地 ※ 主要幹線道路 0地 ※ 補助幹線道路 0地 ○(2)茶ジブレート(Linei ○(3)面テンブレート(Surfi ○(2)第シブレート(Surfi ○(2)第 	特性定義を点に適用(P)		□すべての構成要素を表示				
	付は止張を得成安宗に週内(№)… 補足地形作成を点に適用(A)… 横断片勾配を点に適用…	ti.		Lie 4 Lie 5			
	標準断面に分類を適用 ライブラリに分類を適用 分類ルールを編集						
□ 練習2 ■ 区画道路2(B=6m)	オプション(O) 動的な設定値						

8 修正後は [ファイル] – [保存] でitlファイルを保存します。

